

【1】 小学部の基本的な考え方と教育課程の編成

〔1〕 小学部の基本的な考え方

小学部では、めざす子ども像を「友だちの中で、よろこんで取り組む子」としている。子どもたちが社会的自立をめざすためには、小学部の段階で日常生活に必要な基礎的な事柄をしっかりと身につけておく必要があることは言うまでもない。ただ、我々は指導にあたって、どのような方法でも良いと考えてきたわけではない。

めざす子ども像に掲げたように、自己中心の世界から友だちと関わりを持ち、一緒に活動することで子どもたちの力は養われ、物事に興味関心を示し、生き生きと集中して取り組む姿勢があつてこそ多くの力は身につくものであると考えてきた。しかし、これまではADL的発想から「よろこんで」とか「楽しさ」は、ともすれば何かを身につけさせるための有効な手段としての側面からとらえることが多かった。

今回の研究では、「楽しさ」を手段としてだけでなく目的としてもとらえることにした。すなわち、QOL的発想に基づき、いろいろな教育活動は子どもたちが「生活を楽しむ」ことができるようになるためにも展開されるものであると考えるようになった。

小学部の子どもにとって、「生活を楽しむ」とはどんな事か、どうすればより「生活を楽しめる」ようになるのか、そして、「生活を楽しむ」ことが将来の豊かな生活とどう結びついていくのか、この研究をとおして少しでも理解を深めていきたい。

〔2〕 教育課程の編成

小学部では「楽しさ」「意欲」を大切に生活単元を中心とした教育課程を編成し、次のような週時表（表-1）とした。

- 6年間という期間を考え、低・中・高のクラスの実態に合わせた時間編成とする。
- 生活のリズムを作るために、土曜日を除いて同じような生活の流れとする。土曜日は、合同学習を組まないでクラスで活動する日とする。
- 朝は、それぞれのクラスや児童の実態に合わせてゆとりを持って日常生活の指導にあたる。
- 2校時は音楽、体育、遊び（なかよしタイム）の学習を学部全体で学習する時間とする。
- 生活単元学習を3・4校時の2時間続きの時間としゆとりを持って指導に当たれるようにする。

表-1 小学部週時表(高年)

時間	曜日	月	火	水	木	金	土
8:40	登校・朝の生活						
9:05	学級活動	朝の活動					生活単元学習
9:50	音楽(合同)	体育(合同)	なかよしタイム	音楽(合同)	体育(合同)	学	習
10:30	休憩					おやつ	休憩
10:45	自由遊び					タイム	生活単元学習
11:00	生活単元学習						
11:30	生活単元学習						
12:10	給食・歯磨き						
12:45	掃除・自由遊び						
13:30	生活単元学習		クラブ	生活単元学習		生活単元学習	
14:15	生活単元学習		帰りの活動	帰りの活動		帰りの活動	
14:30	生活単元学習		委員会		帰りの活動		
14:55	帰りの活動		帰りの活動		帰りの活動		
15:15	下校						

(細川彰夫)